



秋も大分深まってきました。朝晩かなり冷え込むようになり、日中との気温差が大きいので、体調管理をしっかりしていきたいと思います。

さて、スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋といわれるように、何をするのに絶好の季節となりました。10月27日からは読書週間が始まります。第1回は昭和22年。戦火の傷跡がまだあちこちに残る中「読書の力によって平和な文化国家を作ろう」という決意で読書週間が創設されたそうです。食べるものにも事欠く時代に、読書することの大切さを訴えたのですから、その頃の人々がいかに読書を重要視していたかが分かります。それに比して、近頃の子どもたちはと言いますと、テレビやゲーム、コンピュータに接する機会が増え、活字離れが進んでいるといわれます。本校では朝読の取り組みやボランティアの方々による読み聞かせ等を実施し、子どもたちが読書に親しむ環境づくりに努めていますが、ご家庭での様子はいかがでしょうか。

私は、読書をするものの効能は、まず本を読むことによってまだ見ぬ人々や出来事、さらには様々な考え方に触れることができることだと考えます。本の中で、素晴らしい人物の生き方に出会ったり、遠い世界を旅したりして、自分が新しい世界の扉をまた一つ開けたことを知ります。

次に、自分の持っている言葉の数が増えるということです。本の中に出てきた様々な言葉の中には、分からない言葉や難しい言葉もあるでしょう。でも、読んでいるうちに前後の関係から言葉の意味を想像できるようになったり、何度も接しているうちに自分もその言葉を使えるようになったりします。使える言葉が増えるということは、考えたり、思ったりしたことを表現する幅が広がることにつながります。さらに、読書によって考える力がつきます。読書により、新しい知識を得たり、読解力や語い力を高めることができるといわれています。読書は学力の基と言われる所以です。

しかし、本との関わりは、本の扉を開かない限り語りかけてはくれません。勇気を持って本の扉を開いてほしいと思います。きっと今までと違う新しい自分を発見できると思います。ご家庭でも子どもと一緒に本に親しむ機会を設けるなど考えて見られてはどうでしょうか。

10月1日は創立記念日

10月1日は、葛城小学校の141回目の誕生日です。

創立記念日を機会に、子どもたちに、地域や保護者の皆さんの頃の学校生活の様子や遊びなどお話しいただけたらと考えます。子どもたちにとっては皆さんの話から、現在の豊かな生活との違いに気づき、これからの力につながる大切な何かを得るものと思います。

創立記念日を機に、校章のいわれについてお話ししたいと考えます。現在の校章は昭和33年創立85周年を記念して作られました。図案は、当時地域産業の中心であった「ミカン」「かせ」「たけのこ」をデザインしています。「ミカン」は清純、「かせ」は協力、「たけのこ」は伸長を意味していると伝えられています。

今一度じっくり観察してみませんか。



演劇鑑賞会

30日に影絵劇「長靴をはいたねこ」の演劇鑑賞会を行いました。体育館に設けられた舞台に、二人の人で操る影絵人形や、指で作った動物の影絵が次々に登場し、物語が進んでいきます。

時には実際の人間と影絵が織りなす不思議な世界に大喜びでした。

また劇団員の皆さんによる手影絵のワークショップも行ってもらい6・4・2年生の子どもの代表がフクロウの手影絵に挑戦し、みんなの喝さいを浴びていました。

子どもたちには、本当の芸術に触れる良い機会だったと考えます。



一日授業参観・給食試食会

26日(木)に一日授業参観を行いました。当日は授業のほかにも給食や掃除など、普段着姿の子どもたちの学校生活の場面をご覧いただきました。一学期と比べていかがでしたか。成長を感じていただけたでしょうか。

また、同時に行いました給食試食会では、学校給食についての説明の後、給食の様子を体験、試食をしていただきました。学校での取り組みを知っていただくことで、これからも家庭との連携を深め、食を通じて子どもたちの健康な心と体を育てていきたいと思ひます。

なお、試食会でご質問いただいた子どもたちに供する食材については、安全性に十二分に配慮した食材を提供していることを申し添えます。

秋の交通安全

秋の交通安全週間の期間中に、PTAや地域の皆さんが、朝早くから校区内の交差点に立っていただき、子どもたちの通学時の安全を見守っていただきました。ありがとうございます。普段は、子ども安全見守り隊の皆さんや、セーフティーサポート隊・青パトの人たちが登下校時の子どもたちを見守っていただいておりますが、つまるところ、子どもたち自身が安全に気をつけなければなりません。



学校でも引き続き交通安全ルールを守り、自分で自分の身を守るよう指導していきますが、ご家庭でもご協力よろしくお願いします。

また、校区内の通学路で、危険と思われる個所にお気づきでしたら、学校までご連絡くださるようお願いいたします。調査させていただき関係諸機関に連絡し、安全の確保に努めたいと考えています。